（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援　みっけキッズ			
○保護者評価実施期間	令和８年　１月　１９日	～	令和８年　２月　６日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	２０名	（回答者数）	２０名
○従業者評価実施期間	令和８年　１月　１９日	～	令和８年　２月　６日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	５名	（回答者数）	５名
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　２月　１８日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全職員で計画を共有し、確認している。保護者様からの悩みや対応について、解決に繋がるような支援をしている。	保護者様からの相談や悩みを汲み取り、困ったこと等も共有している。また担当制にしないことにより、様々な視点から方法を考えることができる。	保護者様が話しやすい、相談しやすい環境を整え、情報共有を積極的に行う。
2	設定活動の充実を図っている。	地域の幼稚園・保育園・こども園で楽しく過ごすことを目的に、集団療育・少人数のグループ療育・個別療育を行っている。	みんなで楽しむなかにも、お子さんひとりひとりのニーズに合わせた声かけやスキルアップを図る。
3	ご家族の困りごと（就労時間や兄弟姉妹のこと、レスパイト、送迎時間等）に可能な範囲で対応している。	対応できること、できないことをお伝えし、どこまでなら対応できるのかをお伝えしている。	保護者様が話しやすい、相談しやすい環境を整える。
4	様々な資格や経験のある職員がいる。専門的な知識も多く、献立も栄養士が立てているため偏食指導もスムーズに行える。	偏食のお子さんに対しても、声かけや食具の使い方、食感や大きさ等をすぐ相談することができている。	引き続き様々な視点や経験を生かし、保護者様の悩みやニーズにお応えするためチームとなって支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HP・SNSの活用及び拡充について。	日頃の療育内容等について、よりご理解いただきくために有効な活用が必要と考えます。	各種やり取りの効率化を図る為、LINEやメーリングリスト等の連絡ツール導入を検討していきたいと考えております。
2			
3			